

## マーケットの動き (2020年4月13日~4月17日)

為替市場は、米ドルは対円で下落(円高)しました。  
米ドルは、対欧州通貨やオセアニア通貨などで進む米ドル安の流れと歩調を合わせ、週央には一時106円台まで下落(円高)しました。その後、月初来安値手前で反発し、他通貨市場の流れが米ドル高に切り替わると米ドル円の下値も切り上がりました。

## 投資環境見通し (2020年4月)

## 米ドルとユーロはともに、円に対して変動率の高い状況が続く

**米ドル**：3月にみられた米ドル不足の状況は、主要国中央銀行が協調してドル資金の供給を行うことで一旦解消したとみられます。当面は新型コロナウイルス感染拡大の動向と社会・経済活動への影響を注視しつつ、円に対して変動率の高い状況が続くとみています。

**ユーロ**：これまで財政出動に消極的だったドイツが国債を発行して経済対策に踏み切り、イタリア首相はすでに発表された経済対策に対して追加を行う考えを示しました。ユーロは米ドルと同様に、円に対し変動率の高い状況が続くとみています。

	4月17日	変動幅 (円)			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	107.53	▲0.98	0.14	▲1.13	▲4.47
ユーロ/円	117.08	▲1.60	▲0.74	▲3.69	▲9.50

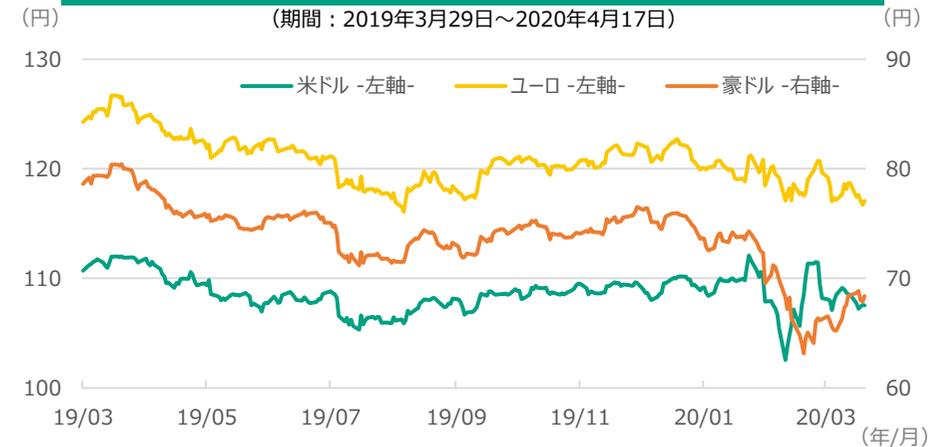
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

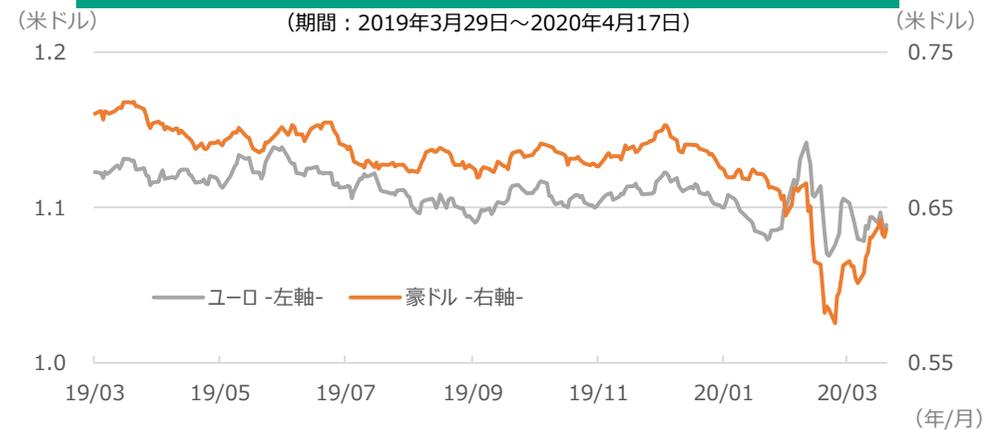
[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202004\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202004_outlook.pdf)

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し(総合)の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

## 為替レートの推移 (対日本円)



## 為替レートの推移 (対米ドル)



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成